

【がん種】 **胃癌**
【レジメン名】 FP+Trastuzumab
【登録番号】 160736
【1コースの期間】 3週間
【投与間隔調整規定】 -2日
【総コース数】 進行・再発:6コースまで(終了後にPDでなければTrastuzumabメンテナンスを施行する)
【催吐性リスク】 高度:シスプラチン、軽度:5-FU、最小度:トラスツズマブ
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント(炎症性):エルブラット(漏出時の冷却禁止)、5-FU、ノンビシカント(非壊死性):トラスツズマブ
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、クレアチニン増加、注入に伴う反応、アレルギー反応、疲労、聴力障害、間質性肺炎、心不全、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚不全、下痢、便秘、脱毛

【必要な検査】 一般採血、心エコー
【根拠論文】 Lancet 2010; 376: 687-97.

【点滴の時間】 [day1~]初回128時間35分, 2回目~127時間5分
【その他】 対象患者:HER2+, トラスツズマブ:投与間隔が4週間を超える場合は、8mg/kg/日で投与.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日									
					1	2	3	4	5	...	21			
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○									
2	ソルデム3A 500mL 硫酸Mg補正液 20mEq/20mL	1 B 0.4 A	側管	90分 AM8:00~	○									
3	ソルデム1 500mL	1 B	側管	90分	○									
4	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○									
5	生理食塩液 250mL ホスアプレピタント点滴静注用 150mg	1 B 1 V	側管	30分	○									
6	生理食塩液 100mL アロキシ静注 0.75mg デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V 2 A 1 V	側管	30分	○									
7	生理食塩液 250mL トラスツズマブBS点滴静注用「NK」 注射用水 20mL 初回8mg/kg、2回目~6mg/kg	1 B - mg/kg 1 A	側管	初回90分、2回目~30分 トラスツズマブ溶解用	○									
8	生理食塩液 100mL	1 B	側管	15分	○									
9	生理食塩液 100mL ラシックス注 20mg/2mL	1 V 1 A	側管	15分	○									
10	生理食塩液 250mL シスプラチン点滴静注「マルコ」	1 B 80 mg/m2	側管	90分 遮光	○									
11	生理食塩液 500mL 5-FU注 13のソルデム3Aと同時に開始	1 B 800 mg/m2	側管	24時間	○									
12	ソルデム3A 500mL 12の5-FUと同時に開始	1 B	側管	90分	○									
13	ラクテック注 500mL	1 B	側管	9時間 残破棄	○									
14	ソルデム3A 500mL	1 B	側管	12時間 AM0:00~		○	○							
15	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 1 V	側管	30分 AM6:00~		○								
16	生理食塩液 100mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 B 2 V	側管	30分 AM6:00~			○	○						
17	ラクテック注 500mL	1 B	側管	12時間		○	○							
18	生理食塩液 100mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○	○	○	○						
19	生理食塩液 500mL 5-FU注	1 B 800 mg/m2	側管	24時間		○	○	○	○					

【FP+Trastuzumab減量・休薬・中止基準】

Lancet 398:759-771, 2021. ハーセプチン適正使用ガイド HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌に用いる際に 2019年11月改訂.

減量	トラスツズマブ	シスプラチン	5-FU持続
1段階	-	60mg/m ²	600mg/m ²
2段階	-	40mg/m ²	400mg/m ²
3段階	-	中止	中止

有害事象	Grade	用量調整
好中球数減少	4	シスプラチン、5-FUを1段階減量
血小板数減少	3≤	
発熱性好中球数減少	3	シスプラチン、5-FUを1段階減量
	4	シスプラチン、5-FUを中止
クレアチニン増加	2≤	シスプラチン1段階減量
末梢性感覚ニューロパチー	3≤	シスプラチン1段階減量
聴力障害	1, 2	シスプラチン1段階減量
	3≤	シスプラチン中止
下痢、粘膜炎、手足症候群	2, 3	5-FU1段階減量
	4	5-FU中止
LVEF LVEFが39%以下の場合		シスプラチン、5-FUを1段階減量
LVEFが39%以下の場合、あるいは		トラスツズマブ休薬
40%≤LVEF<45%で初回投与前値よりも		3週間以内に再評価し、改善していなければ
10ポイント以上低下した場		トラスツズマブ中止
その他の非血液毒性	3≤	シスプラチン、5-FUを1段階減量